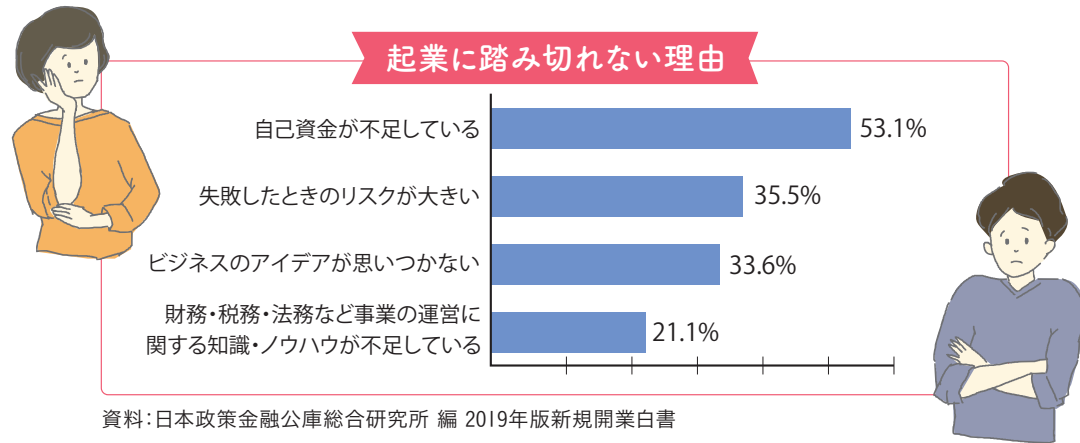
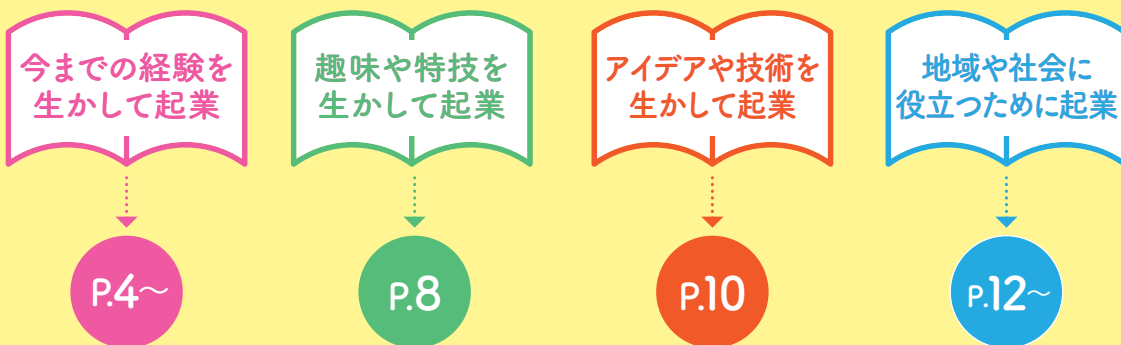


一方、起業に踏み切れない理由として、①自己資金が不足している ②失敗したときのリスクが大きい ③ビジネスのアイデアが思いつかないなどが挙げられています。もちろん、シニア起業であっても、最低限の自己資金は必要となりますし、家族や周囲の理解を得ずに始めたり、専門家に相談せずに始めてもうまくはいきません。



それでは、シニア起業で成功した皆様は、どのように準備を進めたのでしょうか。この事例集では、起業の動機を4つに分けて紹介していきます。さあ、先輩起業家の歩んできた道を教えてもらいましょう！

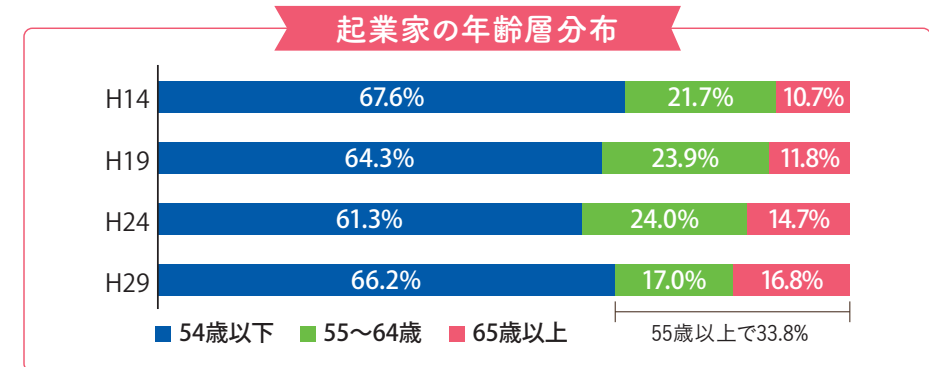
起業の動機4パターン



この事例集ではシニア期を見据えて起業した50歳以上の起業家を紹介しています。なお、次頁以降でお示ししているスケジュールは一例です。

今、注目されている シニア起業

人生100年時代、定年後も働きたいというシニアの方が増えています。そのような中で、定年後などシニア期の選択肢の一つとして、現役時代の知識や経験を生かして、少ない投資で始める身の丈に合った起業が注目されています。総務省の調査によると、55歳以上で起業された方は全体の約3分の1で、特に65歳以上で起業された方は年々増えています。



資料：総務省統計局 就業構造基本調査を再編加工

(注)ここでいう「起業家」とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は会社等の役員又は自営業主となっている者をいう。

シニア起業のメリット

シニア起業のメリットとしては、①自分がしたいことを仕事にできる ②これまでの経験やスキル、人脈を生かせる ③定年がなく、体力が続く限り働けるなどが挙げられます。また、シニア起業の場合、老後に必要となる費用を見込んでも、初期投資が低額であれば、無理のない計画で進められます。

